
.htaccess 利用マニュアル

初版 平成 25 年 8 月

1. 目次	
2. 利用マニュアルについて	3
2-1.本マニュアルを使うにあたって	3
2-2.ご利用上の注意・制限事項.....	3
3. .htaccess でできること	4
3-1. MIME タイプの追加(AddType) とは?	4
3-2. DirectoryIndex 設定とは?	4
3-3. AuthType Basic とは?	5
4. MIME タイプの追加(AddType) 方法.....	6
5. DirectoyIndex の設定方法	8
6. AuthType Basic : 秘密のページ (BASIC 認証ディレクトリ) の作り方.....	10

2. 利用マニュアルについて

2-1.本マニュアルを使うにあたって

本マニュアルは、新スペースレンタルサービスにおける「.htaccess」ファイルの使い方や、「.htaccess」ファイルを使用した場合によくあるトラブルや困ったときの対処方法について記載させていただきます。

2-2.ご利用上の注意・制限事項

- ・ 「.htaccess」の利用には、ある程度の知識を身に付けてられている方のご利用をお願いいたします。弊社では「.htaccess」の記述方法や設置方法、また動作などについてのサポートは一切致しません。ご了承ください。
- ・ このサービスを利用して生じたトラブルについても、弊社では一切責任を負いかねます。ご了承ください。
- ・ 本サービスはお客様へのお知らせ・予告なく変更、中止することがありますのでご了承ください。

3. .htaccess でできること

新スペースレンタルサービスでは、/public_html ディレクトリもしくは、お客様が作成した任意のディレクトリ下に「.htaccess」という名前のファイルを設置する事により、

- MIME タイプの追加設定 (AddType)
- トップページファイル名の変更 (DirectoryIndex)
- ユーザー認証 (AuthType Basic) 設定

といった、より細かな設定をお客様自身で行うことができます。

なお、記述可能な設定は、**AddType**、**DirectoryIndex**、**AuthType Basic** の3種類のみとなっていますのでご注意ください。

3-1. MIME タイプの追加(AddType) とは？

WEB サーバーとブラウザ間ではこの MIME タイプを用いてデータの形式を認識しています。

デフォルト設定でほとんどの MIME タイプは設定されていますが、特別な設定を行いたい場合には「.htaccess」による「AddType」の設定の追加が可能です。

「.htaccess」ファイルに「AddType タイプ名/サブタイプ名 拡張子」の形式で記述することにより、MIME タイプの指定が可能です。

3-2. DirectoryIndex 設定とは？

ブラウザで「http://www.example.jp/user_name/」の様に「/」で終わる URL にアクセスすると、デフォルトで「http://www.example.jp/user_name/index.html」のファイルが表示されます。「index.html」が存在しない場合は、下記の順でファイルを探します。

index.html → index.cgi → index.pl → index.php → index.xhtml → index.htm

DirectoryIndex を設定することで 上記のデフォルトのファイル名以外のファイルを表示させることができます。

【例】「top.html」と言う名前で Web サイトのトップページを作成し、「/」で終わる URL の時に自動でファイルを表示されることができます。

- ブラウザに入力する URL : 「http://xxxx.xxxxx.ne.jp/」
- 実際に表示されるページ : 「http://xxxx.xxxxx.ne.jp/top.html」

3-3. AuthType Basic とは？

秘密のページ（下記の図の様に、認証ダイアログが表示され、ユーザー名とパスワードの入力が求められるページ）の設定が可能になります。



4. MIME タイプの追加(AddType) 方法

一般的に利用されているファイルの拡張子の MIME タイプは以下のように設定されています。

ファイル形式	一般的な拡張子	MIME タイプ
テキスト	.txt	text/plain
HTML 文書	.htm .html	text/html
CSS	.css	text/css
GIF 画像	.gif	image/gif
JPEG 画像	.jpg .jpeg .jpe	image/jpeg
PNG 画像	.png	image/png
Word 文書	.doc .dot	application/msword
PDF 文書	.pdf	application/pdf

デフォルト設定でほとんどの MIME タイプは設定されていますが、特別な設定を行いたい場合には「.htaccess」による「AddType」の設定の追加が可能です。

(1).htaccess ファイルの作成

Notepad やメモ帳などのテキストエディタを使用して、以下の内容を記述します。

```
AddType MIMEタイプ名/サブタイプ名 拡張子
```

"MIMEタイプ名/サブタイプ名" と "拡張子" の部分に、それぞれ設定したい「MIMEタイプ」と「ファイルの拡張子」を記載します。

下記の記述サンプルは、「.docx」(Word2007) の拡張子のファイルを「application/msword」の MIME タイプに設定をした一例です。

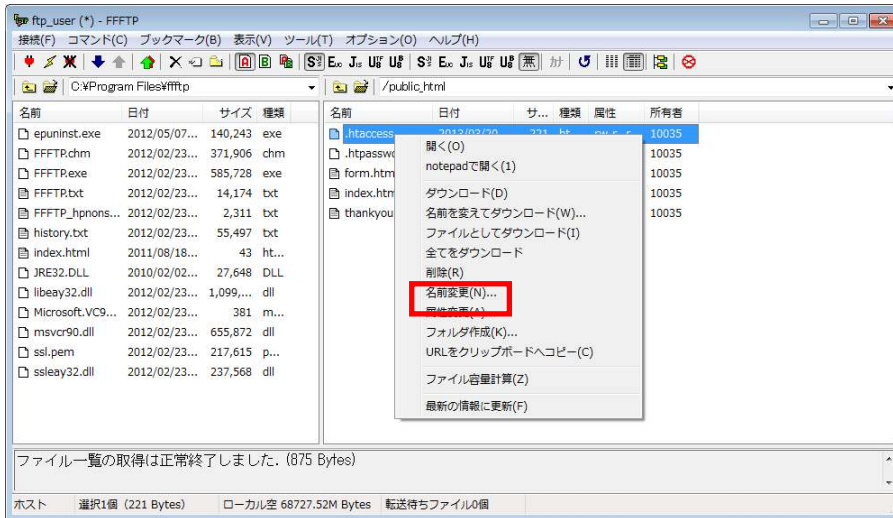
```
AddType application/msword .docx
```

(2)上記ファイルを「htaccess.txt」と言う名前で保存します。

OSによっては「.htaccess」と言うファイル名では保存はできませんので、ここでは一旦「htaccess.txt」と言う仮の名前で保存し、サーバーにアップロードした後に名前を変更します。

(3) ファイルのアップロード

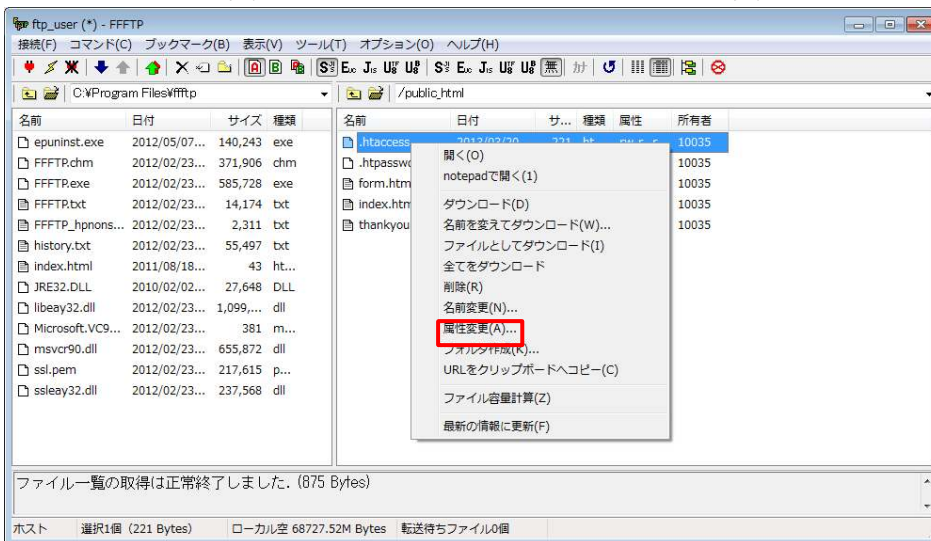
FTP 接続後、「htaccess.txt」をアップロードします。その後、ファイル名を「htaccess.txt」から「.htaccess」に変更します。



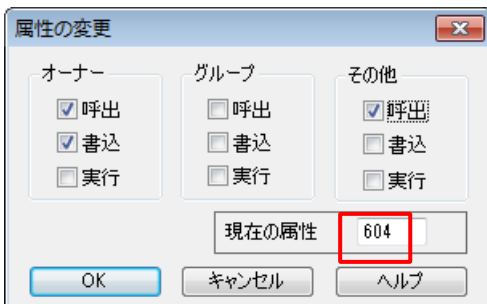
(4) ファイルのパーミッション(アクセス権)の変更

アップロード後、ファイルのパーミッションを rw- --- r-- (604)へ変更します。

① パーミッションを変更するファイルを右クリックし、属性変更を選択します。



② 表示された画面でパーミッションを rw- --- r-- (604)へ変更し、[OK]ボタンで画面を閉じます。



③ ブラウザで確認します。

5. DirectoyIndex の設定方法

(1) 「.htaccess」ファイルの作成

Notepad やメモ帳などのテキストエディタを使用して、以下の内容を記述します。

```
DirectoryIndex ファイル名
```

"ファイル名"の部分にトップページとして表示させたいファイル名を記載します。

下記の記述サンプルは、「http://xxxx.xxxxx.ne.jp/」にアクセスした場合に「index.html」ではなく「top.html」を表示する場合の一例です。

```
DirectoryIndex top.html
```

また、DirectoyIndex は複数のファイルを指定することも出来ます。その場合は前から順番に記述されたファイルが存在するかどうかを確認し、見つかった場合にそのファイルを表示します。

```
DirectoryIndex top.htm topage.html
```

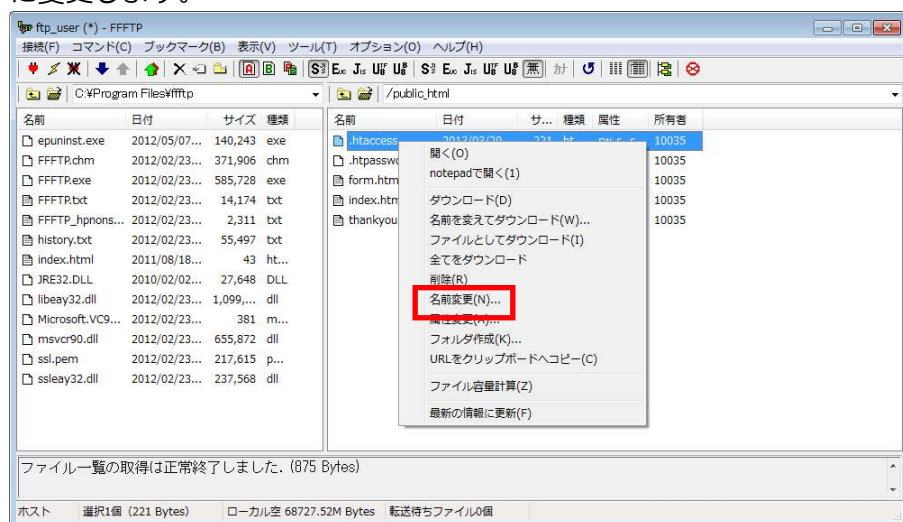
この場合は最初に「top.htm」を探し、存在しない場合「topage.html」を順番に検索して、表示を行います。

(2) ファイル名を「htaccess.txt」で保存します。

OSによっては「.htaccess」というファイル名では保存はできませんので、ここでは一旦「htaccess.txt」という仮の名前で保存し、サーバーにアップロードした後に名前を変更します。

(3) ファイルのアップロード

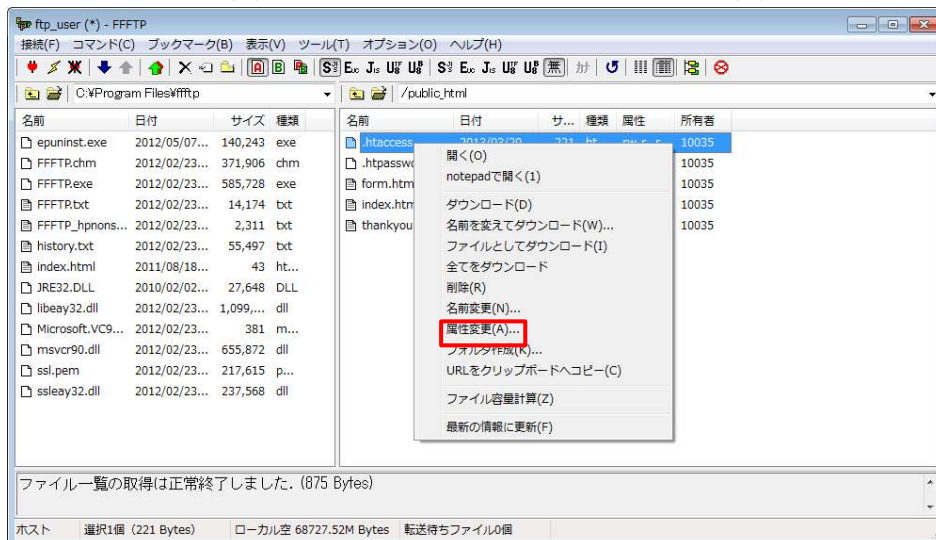
FTP 接続後、「htaccess.txt」をアップロードします。その後、ファイル名を「htaccess.txt」から「.htaccess」に変更します。



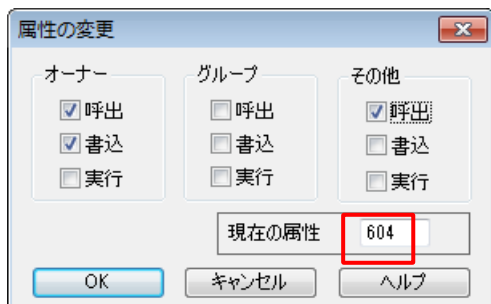
(4) ファイルのパーミッション(アクセス権)の変更

アップロード後、ファイルのパーミッションを rw- --- r-- (604)へ変更します。

①パーミッションを変更するファイルを右クリックし、属性変更を選択します。



②表示された画面でパーミッションを rw- --- r-- (604)へ変更し、[OK]ボタンで画面を閉じます。



③ブラウザで確認します。

6. AuthType Basic : 秘密のページ (BASIC 認証ディレクトリ) の作り方

BASIC 認証(パスワード認証)のページは、「.htaccess」「.htpasswd」の2つのファイルを使用します。

「.htaccess」は、BASIC 認証の設定ファイル、「.htpasswd」は ID/パスワードを記載したファイルとなります。

(1).htaccess ファイルの作成

Notepad やメモ帳などのテキストエディタを使用して、以下の内容を記述します。

```
AuthUserFile /home/isp_user/○○○○○/×××××/.htpasswd
AuthGroupFile /dev/null
AuthName      "Please Enter Your ID and Password"
AuthType      Basic
Require       valid-user
<Files ~ "^¥.(htpasswd|htaccess)$">
deny from all
</Files>
```

- 1 行目で .htpasswd ファイルのパスを記載します。青字部分はお客様毎に異なり、以下のようになります。
例) お客様の FTP アカウントが "sample@homepage1.example.jp" の場合

```
AuthUserFile /home/isp_user/homepage1.example.jp/sample/.htpasswd
```

FTP アカウントの@より後の部分

FTP アカウントの@より前の部分

※パスはフルパス記載する必要があります。相対パスでの記載はできません。

- 3 行目の青字部分の「Please Enter Your ID and Password」は、実際に ID/PW の入力画面で表示される内容で任意に変更可能ですが、日本語などの 2 バイト文字は文字化けする可能性がある為、このまま使用される事をお勧めします。
- 6~8 行目の(<Files>~</Files>)は無くても構いませんが、.htaccess .htpasswd のパーミッション設定ミスなどによって第三者に閲覧される事を防ぐためのものです。
- 上記以外はそのまま記載してください。

(2)ファイル名を「htaccess.txt」で保存します。

OS によっては「.htaccess」と言うファイル名では保存はできませんので、ここでは一旦「htaccess.txt」と言う仮の名前で保存し、サーバーにアップロードした後に名前を変更します。

(3)htpasswd ファイルの作成

「.htaccess」ファイルと同様に Notepad やメモ帳などのテキストエディタを使用して、認証時の ID、パスワードを設定します。パスワードは暗号化されているものを記述する必要があります。

入力したパスワードの暗号化し「.htpasswd」ファイルを生成してくれるサイトやツールを利用するのが簡単です。

★ 「.htpasswd」を生成してくれるサイト

参考サイト 1 : <http://www.s-memo.net/sample/htaccess/index.php>

参考サイト 2 : <http://www.softel.co.jp/labs/tools/basic-auth/>

参考サイト 3 : <http://www.luft.co.jp/cgi/htpasswd.php>

参考サイト 4 : <http://webtools.dounokouno.com/basic/index.html>

参考サイト 5 : http://www.htaccesseditor.com/#a_basic

※ 上記サイトは参考情報の為、自己責任でご利用ください。

ID とパスワードを作成すると下記のような文字列が表示されます。「:」の左が ID、右が暗号化後のパスワードです。

```
taro:zJnH3FT022Z5w
```

↑

ID

↑

暗号化されたパスワード

また、.htpasswd には複数の ID とパスワードを記載することもできます。

```
user1:fQ0ATTLVpFKV6  
user2:Yieu7JdXzEXio  
user3:wxr6BARmXIzos  
user4:9ef.4CjzJgPqQ
```

上記は user1~user4 の 4 つの ID それぞれに「password」という文字列でパスワードを暗号化したファイルのサンプルです。

💡ワンポイント💡

上記で作成したパスワードは、一般的に 8 文字までとなり、9 文字目以降は無視されます。

9 文字以上の長いパスワードを使用したい場合は「MD5 形式」で出力する必要がありますので、「MD5 形式」に対応したサイトやツール等をご利用ください。

(4)ファイル名を「htpasswd.txt」で保存します。

OSによっては「.htpasswd」というファイル名では保存はできませんので、ここでは一旦「htpasswd.txt」という仮の名前で保存し、サーバーにアップロードした後に名前を変更します。

(5)ファイルのアップロード

FTP 接続後、「htaccess.txt」と「htpasswd.txt」の2つのファイルをアップロードします。

例えば、

- ・ お客様の新スペースレンタル URL が「http://homepage1.example.jp/sample/」
- ・ その下の「http://homepage1.example.jp/sample/staff/」に認証機能をつけたい

場合は、

- ・ /public_html/staff/ の下に「htaccess.txt」ファイルをアップロード
- ・ / に「htpasswd.txt」ファイルをアップロード

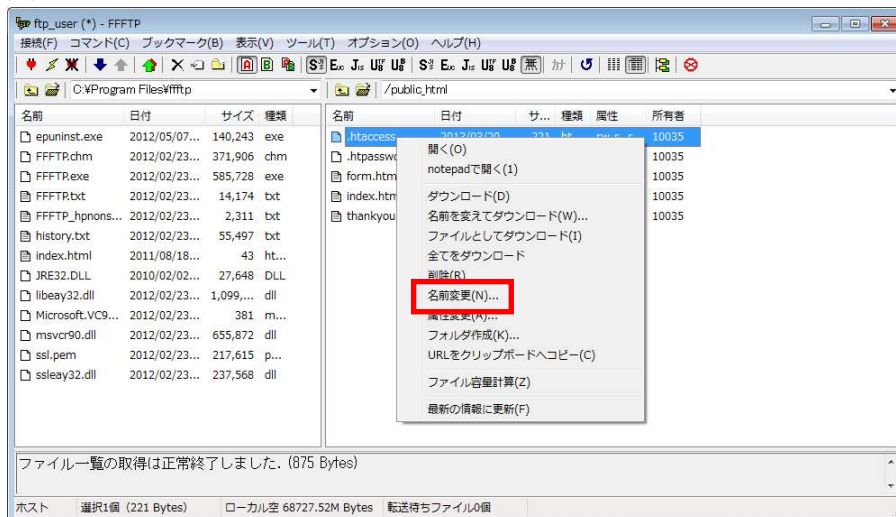
します。

💡ワンポイント💡

FTP で接続した時は最初に「/public_html」に接続されますが、この「/public_html」より下がインターネットに公開される領域となりますので、HTML ファイルや画像ファイルなどはこちらにアップロードします。また、.htaccess ファイルも、アクセス制限をかけたいディレクトリの下に設置する必要がありますので、こちらにアップロードします。

それに対し、.htpasswd ファイルのように、認証に必要な ID とパスワードが記載されているようなファイルはインターネットに公開されている領域に設置するのは危険なので、インターネットには公開されない領域である「/」にアップロードするのが、一般的に安全です。

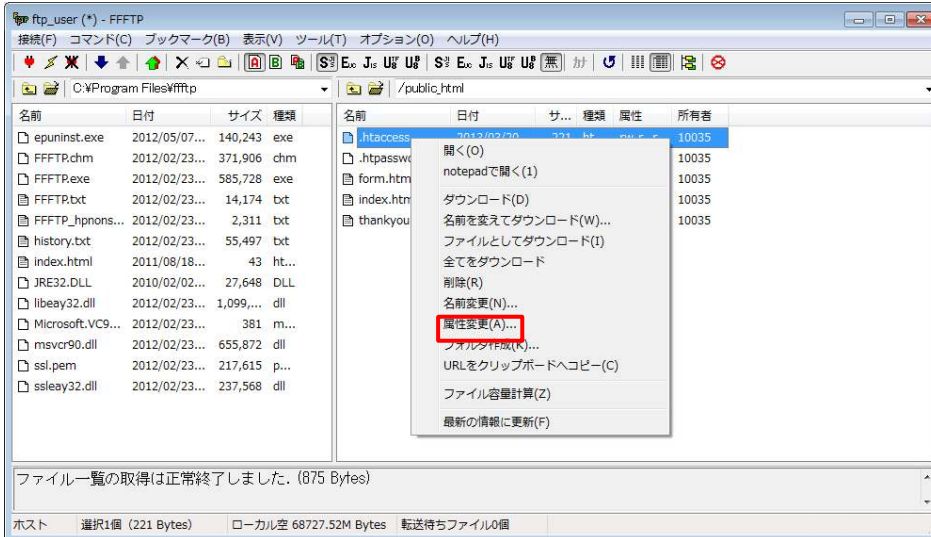
その後、「htaccess.txt」を「.htaccess」に、「htpasswd.txt」を「.htpasswd」に、それぞれファイル名を変更します。



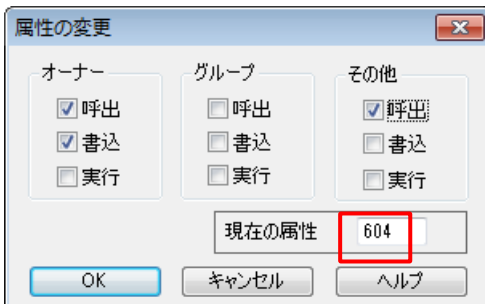
(6) ファイルのパーミッション(アクセス権)の変更

アップロード後、「.htaccess」ファイルと「.htpasswd」ファイルのパーミッションを rw- --- r-- (604)へ変更します。

①パーミッションを変更するファイルを右クリックし、属性変更を選択します。



②表示された画面でパーミッションを rw- --- r-- (604)へ変更し、[OK]ボタンで画面を閉じます。



③ブラウザで確認します。

アクセス制限をかけたディレクトリにアクセスし、認証ダイアログが表示され、ユーザー名とパスワードの入力が求められるか確認します。

